

長崎県立五島高等学校 バラモンプランについて

五島高校 榎本英人



①バラモンプランとは

②平成28年度実施

③平成29年度計画

④バラモンプラスについて

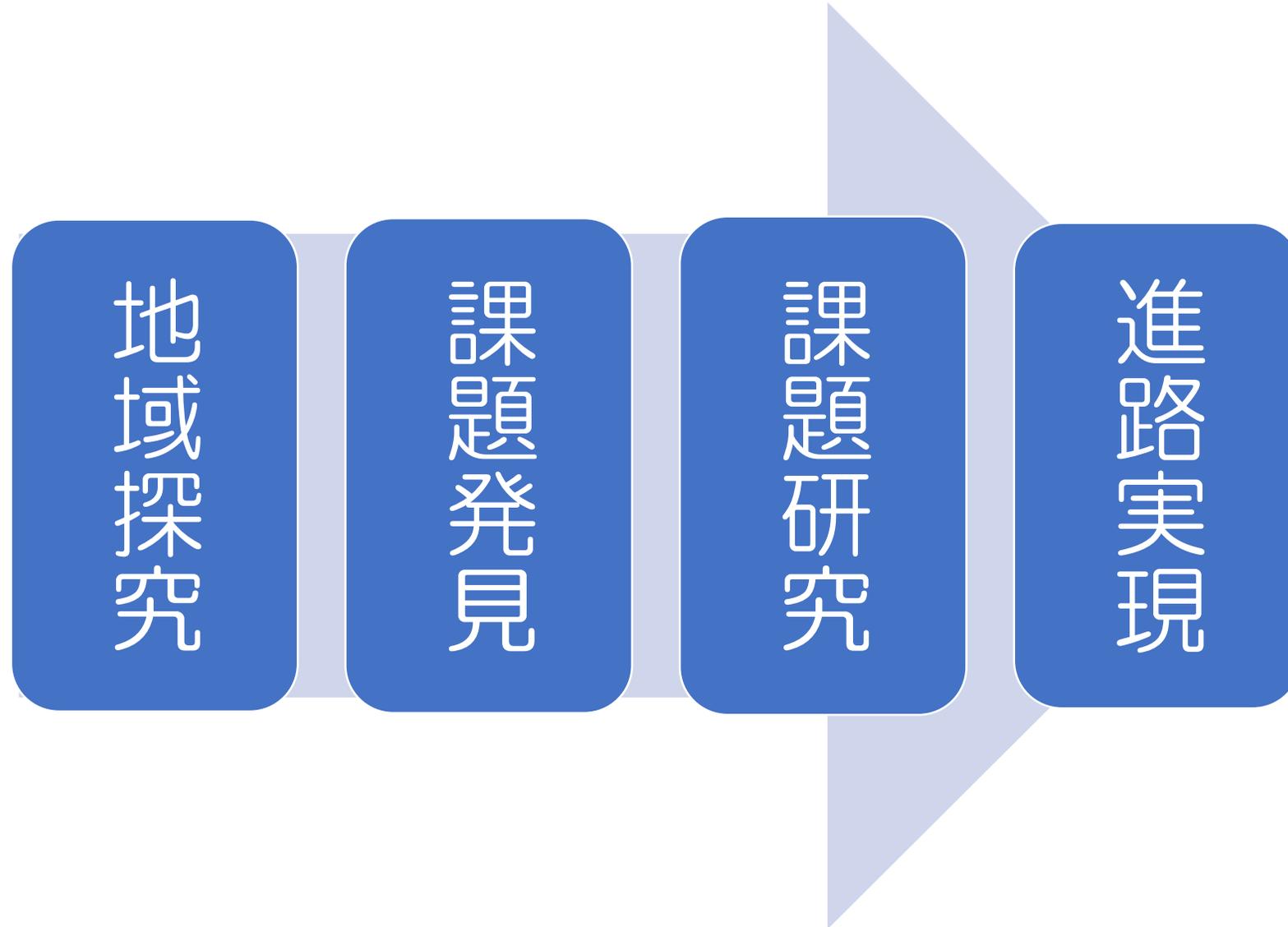
①バラモンプランとは

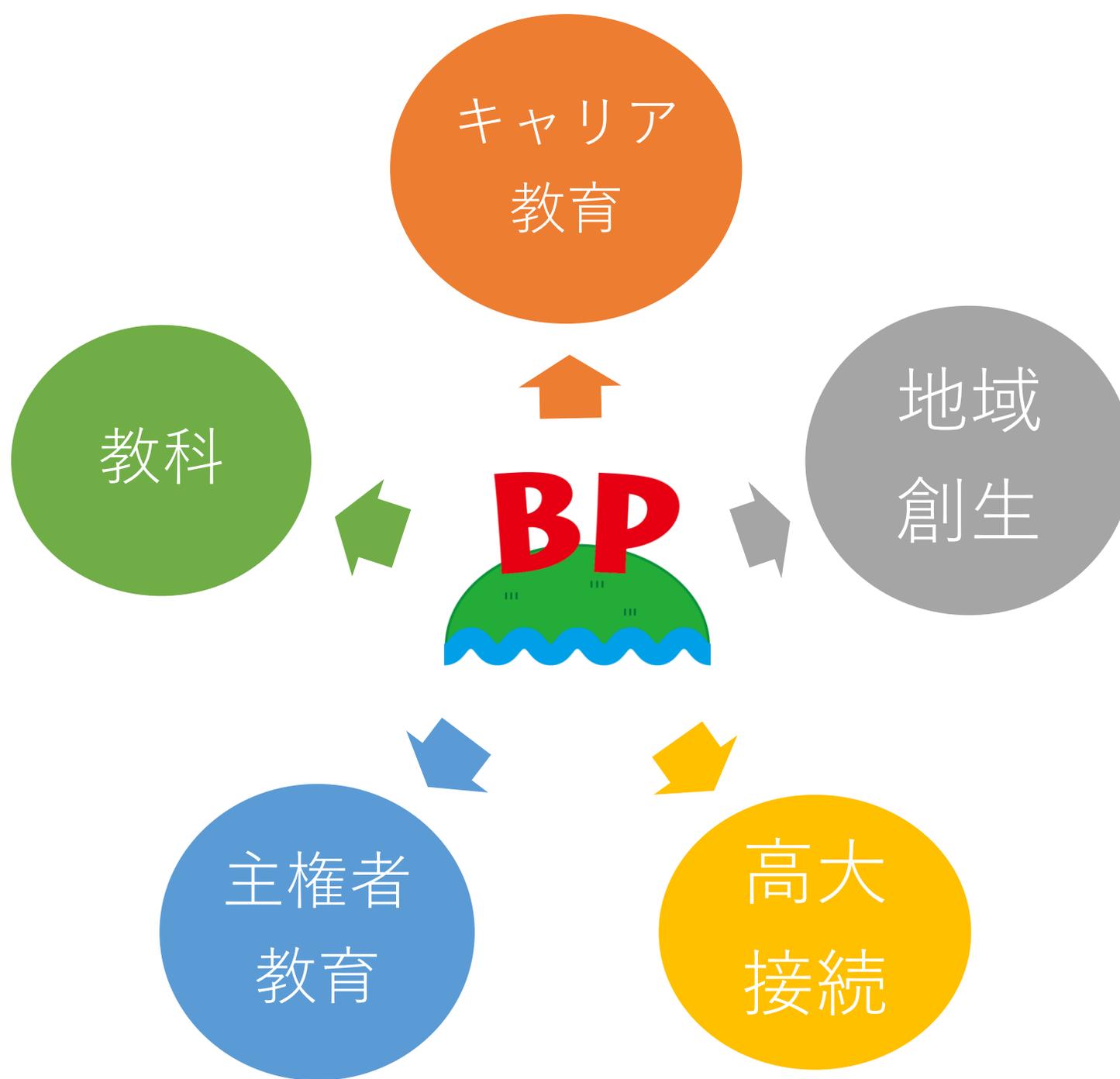
全学年普通科で行っている総合的な学習の時間の総称。
地域探究型課題研究のキャリア教育である。

「ばらもん」とは、「活発な、元気がいい」という意味を持つ五島の方言『ばらか』からきている。



地域探究型課題研究プログラム





②平成28年度実施

2年生 五島市長模擬選挙
1年生 五島ミライシティ





五島へ人を呼び込むために！

私たちが住む五島列島。ここは、たくさんの課題を抱えています。交通問題、二次離島、人口減少に少子高齢化・・・。このような様々な問題の中から、私たち「さんさん党」は、少子高齢化・人口減少にスポットを当て、「観光」「ターン・Uターン」「設備・環境の整備」の観点から大きく3つの政策を打ち出しました！

- ・自然を楽しもう！サバイバルキャンプ
- ・Go！あいらんど交流会
- ・五島になかった施設を！

さんさん党をよろしくお願いします！！

さんさん党

島内にいる方にも、島外にいる方にも 五島の魅力を発信します！

～ひっかける党～

島内にいる方は「一生ここに住みたい」「五島を自慢したい」
島外にいる方は「第二の人生をここで過ごしたい」「子どもができれば連れて行きたい」
と思うような五島の魅力を発信し、五島から人が出て行くことを防ぎ、島外から人が入ってくることを目指します。

<働く女性を支援！>

- 空き家を利用した会社作り
 - *椿を使った商品開発(椿油、化粧品)
 - *工場を建てる *託児所を設立

<五島の魅力を発信！>

- 放送作家に向けた活動
 - *放送作家に五島の写真を送る
 - *フォトコンテストを開催して、地方の方から地域写真を募集

もう一度活気のある街に！

今の五島市に活気を取り戻すためには資金や若い人たちの行動力が必要です。
そのためにはGDPを上げて資金を確保したり人口を増やすための活動を行ったり、若い人たちが集まるイベントを行ったり施設を作ることが必要！

そこで私たちは以下のような町づくりを行うべきと考えました！

- ・競技場のタータン化
- ・地産地消によるGDPの向上
- ・人口増加のためのプロジェクト

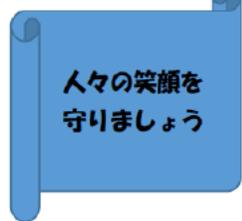


失われつつある五島の笑顔を取り戻そう！

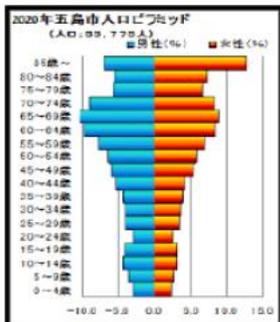
みなさんは、五島の少子高齢化が急速に進んでいるのは、ご存知でしょうか？
主な原因は、若者の不足です。確かに、職が少なく故郷に帰ってくるのを望んでいても、帰って来られないというのが現状です。また、五島について知らない若者が、多くいることでしょう。
そこで、私達の党は、次のことを提案します！！

<五島を笑顔にする党の提案>

1. 大学生を呼ぼう！ ～ 五島を楽しんでもらうツアー ～
2. 女性を呼ぼう！ ～ 美容と健康を五島で感じるツアー ～
3. 外国人を呼ぼう！ ～ キリシタン殉教の歴史と五島の食ツアー ～



若い人を集める



五島市の人口は、年々減少している。原因の一つは若者の流出。人口減少により発生する問題を解決するためには、まず若者を五島に集めることが必要になる。若者が集まれば五島も活発になる!!!!

島内に産業専門の大学を建設!

島外から来る観光客の交通費を安く!

教会を利用したツアーを実施!

パラ7党

CHANGE THE GOTO ~510~

五考党は、「五島を『注目度日本一の離島』に」します!

五島の未来を考えると党 (五考党)

いっぽすすむ
一歩進

人口増加率日本一

人口を51,000人(1.4倍)にするため、日本や世界で活躍している企業や工場を誘致します!そして、五島を住みやすく、働きやすい離島にするため、保育施設や病院、商店街、娯楽施設などの充実を図ります。

来島者満足度日本一

修学旅行や自然・グルメ・マリンスポーツなどのツアー、島婚(婚活)を企画し、観光消費額を51.0億円(7.3倍)にします!また、多くの観光客が来島しやすいように、空港や港の整備、便数の増や大型機離着陸も可能にします。

日本のモデル日本一

再生可能エネルギーの活用化や農産マクロの安全性、医療ロボットやドローンの活用など日本の課題を五島が解決します!そのため、大学や企業と連携し、51の新規プロジェクトを成功(O)させます。

日本一!



解決

- 人口問題
- 雇用問題
- 福祉問題
- 医療問題
- 食問題
- など

海と空と五島列党

五島の美しい海と空を最大限に生かすしまづくり

『ごとりん大学』設立

大学生を五島に呼ぶ

福祉・看護学部設置

& アルバイト支援
海資源を活かした学部設置

若者の人口増加

高齢化社会への対応

雇用増加

『美しい星空』を観光資源に

冬にしか見ることでできない五島の美しい星空をPR

「Wi-Fi整備」と「魅せるお土産」で地域密着型の観光を!

誰もが気軽に観光、地元民が情報発信

お土産を配って、観光客が五島をPR

～五島のために～

平成29年2月13日

GO!GO!ゴトウ

五島人による五島のための公式アプリ

本数が少なく、混みこみの座れないバス。

五島に住みたいと思った人も考え直すようなことが、子育ての不安、交通の便、住宅情報、雇用の状況などなど五島への不安はたくさんあるでしょう。

そこで、私たちは五島公式アプリを作ります。

具体的には、五島のアプリを作ることによって手軽に共有を可能にし、若者たちの関心、五島の発展につなげられるように。

模擬投票の様子



立会演説会後3日間を使って模擬投票を行いました。この投票は各家庭に投票はがきを送付し、自由に投票をしてもらいました。

開票の様子



五島高等学校 五島市長模擬選挙 

候補者名	得票数	候補者名	得票数
松野 大翔	50	山口 ふくえ	59
一歩 進	43	山田 花子 	80
山田 佐藤	10	手塚 豊	26
ドナルド・ジョー ニペネロペ	11	サンシャイン五島	17

開票作業も生徒が行いました。手作業と機械を使った集計を行い、五島市長（仮）を決定しました。

島の活性化へ公約考案中



公約作成に向け、島の未来について話し合う生徒たち

—五島高

五島市池田町の県立五島高(原田尚之校長、普通科の2年生133人が、仮想政党をつくり、市を盛り上げるマニフェスト(政権公約)を考える授業に取り組んでいる。公約は各党首が発表し、校内投票を実施。選ばれた上位の党が市に提言する。

昨年の「18歳選挙権」導入を受け、主権者教育の一環で初めて企画。昨年12月から今年2月まで「総合的な学習の時間」を活用している。地域の魅力や課題を考え、それを生かしたり解決したりする力、表現力などを養う。

生徒はクラスに関係なく無作為に分けられた八つの班ごとに、政党を結成。「バラムプラン」と題して▽人口▽雇用▽少子高齢化▽産業の共通テーマのほか二つのテーマを独自に決め、それぞれに関する公約を考える。

市や県もサポート。昨年12月、市幹部が市政の概要や施策、産業

五島高生が仮想政党、投票 主権者教育、初企画

1/19(木)

1月19日(木)
長崎新聞



この五島市長選(仮)は新聞にも取り上げられました。五島市の高校生議会でこの時の政策を含め、発表を
ました。

最多得票の党首、市に今春提案

や観光の統計データなどについて解説。今月16日からは県市職員がアドバイザーとして助言を始めた。現在はテーマごとに、党員に募った案を集約している段階。行政担当者を驚かせ、動かすのを目標に▽市が進める「海洋再生可能エネルギー」と漁業の共生」などを学ぶ大学を創り、島内外の高校生を呼び込む▽観光資源としてきれいな星空を前面に押し出す▽大規模お見合いイベントを誘致する▽若者受けする商業施設や映画館を建設する」などハードソフト両面で活発な議論が進んでいる。

2月13日に公約発表会を開き、その後の3日間で投票する。投票は強制せず、現実の選挙のように「応援したい党がない」「忙しくて行けない」といった理由で棄権しても意思表示の一つとみなす。最も多く得票した党の党首は上位の党とともに、今春にも野口市太郎市長や市幹部に提案する。

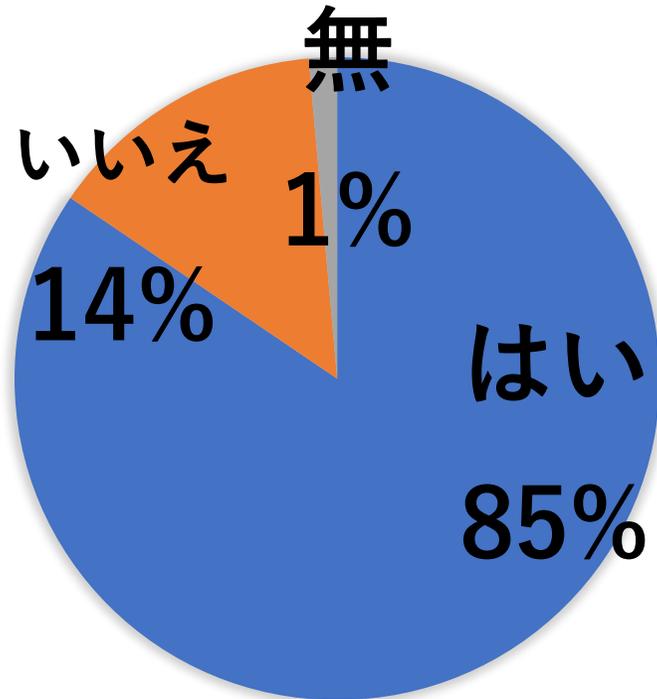
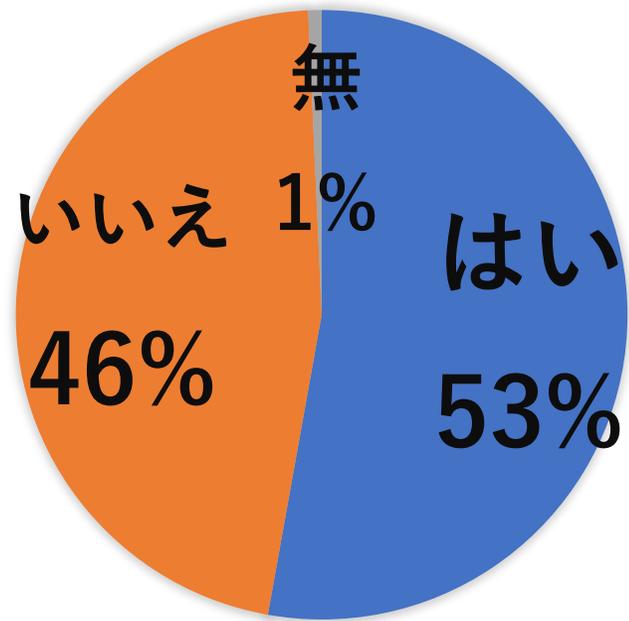
党首の一人、北川将大さん(17)は「人口減少の対策が大きな課題。五島へ向き合う機会、別の党首の戸野本繁葉さん(17)は「本土になく五島でしか生めない雇用の政策を打ち出していきたい」と意気込む。(石田慶介)



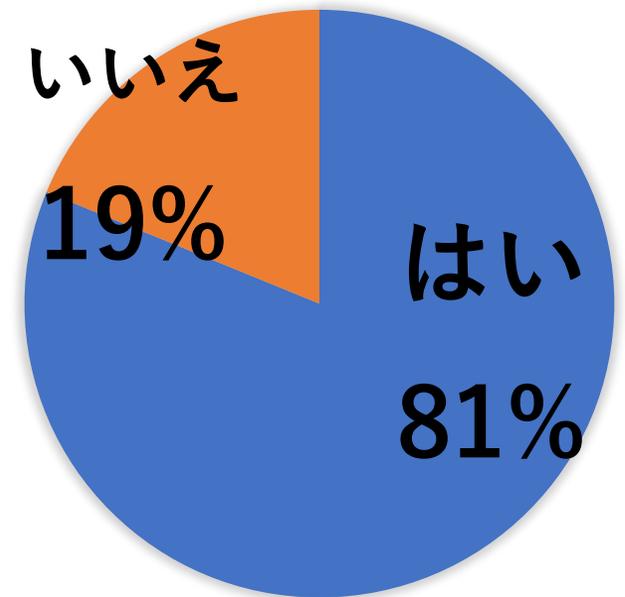
今回の衆議院選挙のアンケート（3年生普通科全員）

模擬投票は役に立った。

あなたは有権者ですか。



バラモンプランで政治に興味もった。



1年生 五島ミライシティ

【2025年 戻ってきたくなくなる未来の五島】

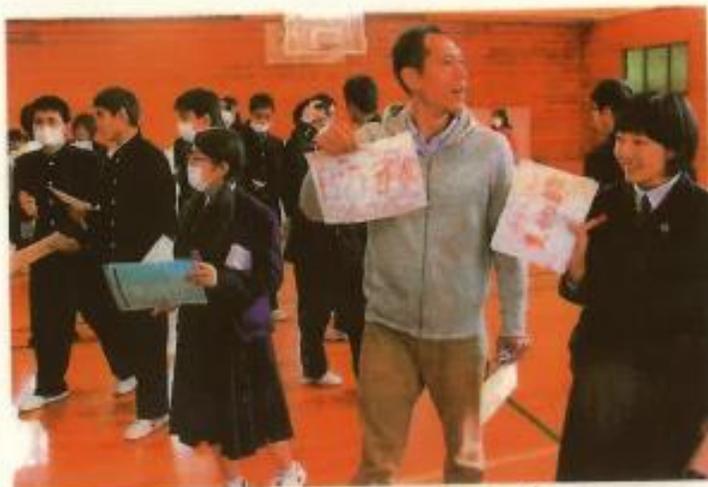
高校を卒業して、島外に進学・就職した後、
戻って来たくなくなる五島にするために、
”自分ごと”で取り組みたいこと



ワークショップの様子

生徒150名に対して
大人が30名参加しました。
充実したWSになりました。





魅力ある島に 官民学が知恵

五島高でワークショップ

魅力ある島の将来を考
える大規模なワークショ
ップ「五島ミライシテイ」
が21日、五島市池田町の
県立五島高であり、官民
学が一緒になって知恵を
絞った。

ワークショップを企画
・運営できる人材を県内
各地で育成している「長
崎大経済学部みらい創造
センター」が主催。五島
高普通科1年生をはじめ
め、同校部の学生や地域
住民、県市職員ら約200

思い思いの未来像 発表

0人が参加した。
参加者は10分ごとに26
のグループに分かれ▽五
島のいいところ▽残した
い仕事、あったらいい仕
事▽将来、戻ってきたい
未来の五島ーについて意
見交換。その上で一人一
人が2025年の五島ー
のキャッチフレーズを紙
に書いていった。

その後、紙を掲げて歩
き回って仲間探し。「企
業の支店を集める」「の
びのび子育て」「ネーチ
ャー(自然)型アイズニ
ーランド」「小さな大都
市」など思い思いの未来
図を集約させ、そのため
に何をすべきかを模造紙
にまとめ発表した。

同市では高校生の約9
割が卒業後に島を出る敷
しい現状が続いている。
同校部の津留崎和義准教
授(46)は、「『むらが町』
を見直して何か一つでも
アクションを起こさきつ
かけになれば」と期待を
込めた。

(石田慶介)

キャッチフレーズを書いた紙を手に
歩き回る生徒ら
県立五島高

平成29年3月23日(木)長崎新聞



③平成29年度計画

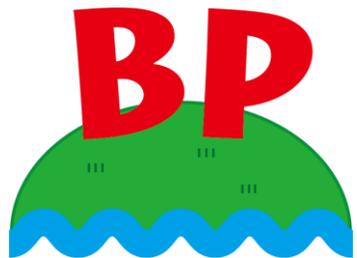
2年生 五島の課題研究

1年生 バラモンプラン講演会



2年生 五島の課題研究

五島活性化の方策を各分野に分かれて調べて発表します。今回はNIEとコラボをしているので、新聞の調べ学習を充実しました。



1年生 バラモンプラン講演会



毎週、島内外から様々な分野の講師をお呼びして講演をしてもらっています。普段の授業では学ぶことのできない内容が多く、生徒の視野を広げる取組みとなっています。

1年生は長崎県の高校で初めて 財政教育プログラムを行いました。

財政教育プログラムとは財務省と共同で行った学習プログラムで、生徒がグループでテーマを考えて、国家予算の編成を行う、アクティブラーニングを取り入れた内容になっています。

「防衛費増やそう」 「公共工事やりすぎ」 「酒税上げて借金減」

国家予算 高1が編成!?

五島市の主権者教育

五島市池田町の県立五島高（原田尚之校長）1年生が14日、県や地方自治体の財政の仕組みについて学ぶユニークな授業に取り組んだ。長崎財務事務所指導の下、グループごとに国の予算編成を体験。さまざまな意見が飛び交う中、歳出と歳入のバランスの取り方に頭を悩ませていた。

同校は主権者教育に力を体験するなど学年ごとを入れ、これまでも仮想に多様な活動を展開して政見をつくって模擬選挙 きた。今回は財務省が全

あと2年で選挙権「もっと知識を」

全国各地の学校で実施している「財政教育プログラム」を活用、同市や県内高校では初めてで、約150人が参加した。同事務所職員が、高齢化に伴い社会保障費が増える国の借金が年々増えていることや、その負担を次世代が背負わなければならないことなど、国や同市の財政事情を説明。その後、生徒は数人ずつのグループで、社会

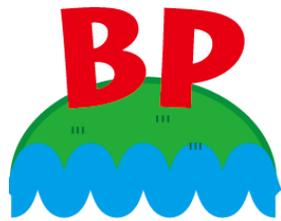
保障や教育、公共工事などの歳出、各種税金などの歳入について、どの項目を増減して収支のバランスを取るか、パソコンを使いながら予算編成に挑んだ。

「北朝鮮の動向を不安視して防衛費10%増、公共工事はやりすぎ、減らしていい」。少子化対策のため社会保障費10%増。「酒税やたばこ税をもっと上げて借金を減らす」など、増減の項目や理由は十人十色。妥協しながら、一つの方角性を導き出していった。

高齢者が動きやすい環境について考えた森心太さん（16）は「あと2年で選挙権を得る。いろいろな知識を身に付けて臨みたい」と話した。（石田慶介）



平成29年6月15日（木） 長崎新聞



BP バラモンプラス

④バラモンプランの課外活動



バラモンプラス

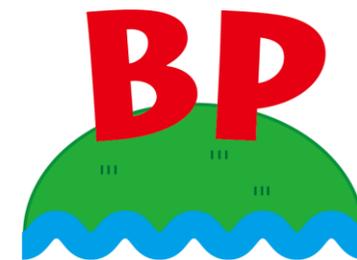
これまでの取り組み例

- 五島ピザ開発
- こども大学 ～かまぼこ学～
- ベンチ塗りワークショップ
- 観光アイランド 長崎大学と横浜国立大学
- 土壁を塗ろう！ 有川邸土壁WS
- 長崎海洋大使海外派遣
- 石田城周りの街路デザインWS
- DIG ビジネスプランコンテスト
- 長崎大学地域医療セミナーinGOTO
- 武家屋敷に私たちの庭園をVOL.2
～松下邸跡地手入れと戦略作りのためのWS～ など



「地域の学校（仮）」

1年生で行っているバラモンプラン講演会は地域の方に開放をしています。地域探究をしている生徒のための講師は地域の人のための講師にもなると考えています。また、開かれた学校、地域にとって風通しのよい学校を目指し、**地域と協働**をして地域を盛り上げたいと考えています。



長崎県NIE研究指定校

長崎県主権者教育指定校

文部科学省

実社会との接点を重視した
課題解決型学習プログラムに係る
実践研究指定校

